

(別添資料 1)

事業所名		Buddy堺学園町				支援プログラム（児童発達支援）		作成日	令和	7 年	3 月	5 日
法人（事業所）理念		Buddyは従業員、利用者さま、親御さま、会社に関わる全ての関係者さま、皆で仲間意識を持って一緒に成長し、皆が笑顔になれる未来を創造します。										
支援方針		1. 集団療育では、仲間の大切さ、コミュニケーションスキル等の社会に出ていく為に必要なスキルを学んでいただきます。 2. 個別療育では、伸ばしたい分野に合わせて、個別プログラムの中から1人1人に合った支援を行います。										
営業時間		11 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし		
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援します。 睡眠、食事、排泄等の基本的な生活習慣を形成し、生活リズムを整えることができるよう支援します。 身の周りを清潔にし、食事、排泄、衣類の着脱等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援します。また障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化し支援します。										
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る支援をします。 保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援します。 感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調節等の支援をします。										
	認知・行動	物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとしたり 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援します。 認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援します。こだわりや偏食に対する支援を行います。										
	言語 コミュニケーション	言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や指差し、身振り、サイン、視覚的な絵カード等を用いて環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。 個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得や場面に応じた言動・対応など人との関わり方についての学び等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援します。 障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援をします。										
	人間関係 社会性	子どもが基本的な信頼感を持つことができるように、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援をします。 集団に参加するための手順やルールを理解し、子どもの希望に応じて、遊びや集団活動に参加できるよう支援します。ともに活動することを通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら仲間づくりに繋がるよう支援します。										
家族支援		一人一人の特性に合わせた支援を行い、保護者のレスパイトや就労等のニーズに対応します。 保護者様との面談や保護者会等を実施し、子どもの発達状況や支援ニーズの確認をしたり、保護者同士の交流の機会を提供します。					移行支援		子どもの状態・ご家族の意向を踏まえライフステージの切り替えを見据えた支援、進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助をします。地域社会への参加・包摂（インクルージョン）を推進していきます。			
地域支援・地域連携		相談支援事業所や併用している他事業所との情報共有・連携をしていきます。 園の先生とお話する機会を持ち、それぞれの役割について確認します。					職員の質の向上		定期的な療育会議、職員会議、活動会議の実施や、職員の勉強会や研修を行います。			
主な行事等		お花見、夏祭り、プール、ハロウィン、クリスマス会、節分、所外学習、工場見学、農作業体験、避難訓練、交通安全教室等										

(別添資料1)

事業所名

Buddy堺学園町

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和

7 年

3 月

5 日

法人（事業所）理念		Buddyは従業員、利用者さま、親御さま、会社に関わる全ての関係者さま、皆で仲間意識を持って一緒に成長し、皆が笑顔になれる未来を創造します。										
支援方針		1．集団療育では、仲間の大切さ、コミュニケーションスキル等の社会に出ていく為に必要なスキルを学んでいただきます。 2．個別療育では、伸ばしたい分野に合わせて、個別プログラムの中から1人1人に合った支援を行います。										
営業時間		11	時	30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援します。 睡眠、食事、排泄等の基本的な生活習慣を形成し、生活リズムを整えることができるよう支援します。 身の周りを清潔にし、食事、排泄、衣類の着脱等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援します。また障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化し支援します。										
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る支援をします。 保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援します。 感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調節等の支援をします。										
	認知・行動	物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとしたり 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援します。 認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援します。こだわりや偏食に対する支援を行います。										
	言語 コミュニケーション	言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や指差し、身振り、サイン、視覚的な絵カード等を用いて環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。 個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得や場面に応じた言動・対応など人との関わり方についての学び等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援します。 障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援をします。										
	人間関係 社会性	子どもが基本的な信頼感を持つことができるように、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援をします。 集団に参加するための手順やルールを理解し、子どもの希望に応じて、遊びや集団活動に参加できるよう支援します。ともに活動することを通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら仲間づくりに繋がるよう支援します。										
家族支援		一人一人の特性に合わせた支援を行い、保護者のレスパイトや就労等のニーズに対応します。 保護者様との面談や保護者会等を実施し、子どもの発達状況や支援ニーズの確認をしたり、保護者同士の交流の機会を提供します。					移行支援		子どもの状態・ご家族の意向を踏まえライフステージの切り替えを見据えた支援、進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助をします。地域社会への参加・包摂（インクルージョン）を推進していきます。			
地域支援・地域連携		相談支援事業所や併用している他事業所との情報共有・連携をしていきます。学校の先生とお話する機会を持ち、それぞれの役割について確認します。					職員の質の向上		定期的な療育会議、職員会議、活動会議の実施や、職員の勉強会や研修を行います。			
主な行事等		お花見、夏祭り、プール、ハロウィン、クリスマス会、節分、所外学習、工場見学、農作業体験、避難訓練、交通安全教室等										